

新生銀行 第15期定時株主総会 質疑応答要旨

2015年6月17日

質問者1

問① 増配するほうが株価向上に寄与するのではないか。

答 株主還元は重要課題として認識している。公的資金の返済のための内部留保の蓄積、将来成長に必要な自己資本の備え、株主還元の3つのバランスを取りつつ、増配を実現できるよう努力をしてみたい。

問② あおぞら銀行に比べて2倍の資金量があるにも関わらず、活用しきれていない。ハイパフォーマンスな資金利用をお願いしたい。

答 新しい技術やビジネスモデル、社会的ニーズが高まる新しい産業など、本当にニーズのあるところに貸し出すことで、優良な貸出資産を増やすよう、引き続き努力をしてみたい。

質問者2

問① 配当金が株主総会決議によらずに、既に振り込まれているがなぜか？

答 当行は定款の定めにより、配当決定の決議を取締役会で行っているため。

質問者3

問① 株価に対する市場の評価が低い。妥当と考えているのか？もし評価が低いと考えているのであれば、株価向上の施策は何か？

答 株価については意見を差し控えるが、個人的には現在は納得できる水準ではないと考える。成長分野において新しいお客さまを獲得し、また、当行独自の商品・サービスを提供することで当行の成長性を示し、株価上昇につなげたい。

質問者4

問① 他社と同様に、配当金を株主総会決議とするよう約款を変更してほしい。

答 当行は取締役会で決議することが機動的と考えている。株主さまの期待に対して柔軟に対応できるというメリットがある。

問② 配当金をもう少し上げ、株主還元をしても良いのではないか？

答 配当額について、現状のままでいいとは思っていない。引き続き重要な経営課題として、検討してまいりたい。

質問者 5

問① 7年ほど前に新生銀行株を575円くらいで購入した。株価は元の水準に戻らないが、あと何年持っていれば元に戻るか？

答 株価を上げるための努力は一生懸命しており、最重要課題としてこれからも継続する。株価を上げることは、公的資金返済への近道でもあり、全行一丸となって努力することを約束したい。

質問者 6

問① Eメールの設定について、海外ATM出金時はEメールが届くが、国内ATM利用時のメール設定がない。なぜか？

答 国内ATM出金時のEメール通知は現在検討している最中である。

質問者 7

問① 公的資金残高と、返済に必要な金額、株価および公的資金返済方法は？時間の経過によって公的資金の返済額は増加してるのではないか？

答 公的資金残高は2,000億円強。返済方法は、全額を市場で売却する以外には、自己株式取得、第三者による取得等が考えられる。国民負担が発生しない株価水準は約450円。公的資金において、タイムバリューの考え方は適用されていない。

問② 公的資金を返すのが経営の第一課題であるなら、目標株価を設定すべき。

答 公的資金投入時の大臣の国会答弁によれば、計算上は700円程度の株価が必要となるが、われわれの目標株価というわけではない。

問③ 内部留保で自己株式取得を実施しないのはなぜか？

答 自己株式取得は市場に影響を与えないという意味で現実的な方法であるが、例えば株価200円の時に500円で買うわけにはいかないため、株価を上げることが必要と認識している。株主還元に関してはあらゆる努力を行っていく所存。

質問者 8

問① 内部留保は今年はいくらか？最終的に公的資金返済の目途はあるのか？

答 内部留保は招集ご通知 53 ページの個別貸借対照表に記載される「その他利益剰余金」が該当する。公的資金返済については、まず株価を上げ、業績を上げることが必要。今よりもバリューがある銀行、成長期待が持てる銀行を目指し、今後も努力をつづけていく。中長期的なビジョンについては、第三次中期経営計画にてお示ししたい。

以上